

gakuto

学塔



2010.Spring

No.125



自著を語る「立ち上がるベトナムの市民とNGO：
ストリートチルドレンのケア活動から」

クローズアップ

これだけは読んでおきたい

各学部の先生からのオススメ本

From Students

館長懇談会

ブックロウのPick Upコーナー!!

視聴覚コーナーリニューアル
ソーラーパネル設置

News!

図書館ツアー

特集

どんなところ？
三重大図書館

自著を語る。



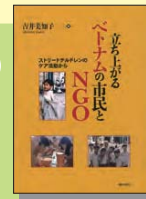
CLOSE UP

私の人生の十数年分が凝縮された著書です
— 図書を紹介をお願いします。

二〇〇九年八月出版の、私の初めての単著書二人で全部書いた本です。
私は仕事でベトナムに住んでいて、ベトナム人と結婚しました。結婚相手は、たまたまストリートチルドレンのケア活動をしている人でした。活動を手伝い、二人でNGOを立ち上げました。結局ベトナムには全部で二年いました。
その活動のなかで得たデータをもとに、ベトナムの市民がストリートチルドレン問題の解決に努力していることを、学問的にまとめました。私の人生の十数年分が凝縮された著書です。

ドナーの皆さんへ伝えたい
— この図書は、先生の博士論文が元になっていますね。では、論文のテーマに、これを選んだ理由は何？

NGOに寄付を下さるドナーの方々にはベトナムのNGOの事情を理解してもらいたくてこのテーマを選びました。先に書きたいテーマがあつて、どうやって表現しようかと考えた末、それを博士論文という枠にはめたわけですよ。
しかし、博士論文ですとどうしても内容が硬くて読みにくい。出版することになって、論文の体裁を整えるために書いた箇所は削除し、個人的な経験談も加えて、一般の読者にわかりやすいよう工夫しました。



『立ち上がるベトナムの市民とNGO: ストリートチルドレンのケア活動から』

〈明石書店 2009.8〉
【所在】図・開架・図書
【請求記号】369.4/Y 88

吉井美知子 先生
国際交流センター教授

海外に興味を持っているかた、ボランティア活動してみたいと思っただけに、お勧めの一冊です。著者の吉井美知子先生に、話を伺いました

自分たちも苦しい生活のなかで
— 調査の中で、印象に残ったエピソードを教えてください。

ホーチミン市のストリートチルドレン十人の事例を詳しく調査しました。そのついで、小学生の男の子の家についての話があります。
両親ともに二元ストリートチルドレンでした。そういう二人が、スラム街の一角で出会って夫婦のようになりました。
父親は足に障害があつて歩けず、母親は病気で、自分たち自身も路上生活の苦しいなかで、川岸に捨てられていた赤ちゃんと育てたのです。そして、道端で宝くじ売りをしてしながら小学校に通わせていました。
この話が、印象に残っています。

三重大生へのメッセージ／外国との接点を持つて！
— 三重大生のメッセージをお願いします。

三重県内にいると、自分から積極的な努力しなければ外国との接点を持つことが難しいと思います。じつとここにおいて周囲の日本人とだけ接していても生活に不自由ありません。でもたまには意識して、身近な外国人の人たちと接する努力をしてみてください。きっと新発見があります。
そして、もし一歩踏み込んで日本で、あるいは途上国でボランティア活動してみたい、国際協力の仕事をしてみたいと思ったら、ぜひ相談に来てください。



今回お話を伺った図書は、第8回日本NPO学会賞優秀賞を受賞しました。吉井先生、おめでとうございます！



2006年：施設の子どもたちへの聴き取り調査風景 (My Linh撮影)



2006年：大喜びでポーズを取る施設の女の子たち (My Linh撮影)



2005年：刺しゅうの職業訓練。みんなとても手先が器用 (Tho Mai撮影)

用語紹介

【ストリートチルドレン】
経済的に困窮し、学校に通わず道端を中心とする場所で物乞い、屑拾い、物売り、荷物運び、靴磨き、スリ、かっぱらい等の営利活動を行う、あるいはそのような状況に陥る危険性を持ち、生来の能力を発揮する機会に欠ける18歳以下の子どもたち。

【NGO】
非政府組織。平和・人権問題などで国際的な活動を行っている非営利の民間協力組織。

*エニジーオー【NGO】日本国語大辞典
ジャパンナレッジ(オンラインデータベース)
入手先 (http://www.jkn21.com) (参照 2010-01-28)

【吉井美知子先生 PROFILE】

三重大学国際交流センター教授。
現在は国際協力、市民社会等についての授業を担当するとともに、ベトナムのNGOについて専門に研究している。日本商社ベトナム駐在事務所所長やJICA専門家等の経歴を持つ。勤務の傍ら、ローカルNGO、FFSC (ホーチミン市ストリートチルドレン友の会)の経営にボランティア参加。

これだけは読んでおきたい!! 各 学部の先生からのオススメ本

READING LIST

READING LIST

READING LIST

共通教育 荻原彰先生

釈徹宗 著
『宗教聖典を乱読する』
明日新聞出版
【所在】図・開架・図書
【請求記号】161.9/Sh 12

ヒンズー教、神道、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、仏教の聖典を抜き出し、解釈を加えている。とりわけ興味深いのは仏教の部分だ。自己の枠組みへの執着こそがその根源だという指摘は、自分自身に照らしてみても誠に納得できる指摘であるが、現代の若者、とりわけ人間関係に悩む(こだわ)る若者にはあてはまると思う。現代の課題への言及も多く、決して読みにくいではない。

生物資源学部 伊藤進一郎先生

吹巻俊光 著
『きのこの下には死体が眠る!? 菌糸が織りなす不思議な世界』
技術評論社
【所在】図・開架・図書/
生・森林生物循環学
【請求記号】478.4/F 73

ちょっと変なタイトルである。カビやキノコは、生態系の中で重要なたらきをしているが、食用キノコには興味があつても、生態系に生活するきのこの興味を抱く人は少ないだろう。本書では、動物の死体が分解された跡に出るきのこの始まり、きのこの何かが、その毒、生態系でのたらきや分布、きのこが作る森などがわかりやすく解説されていて、読み物としても楽しめる書である。

工学部 阿部純義先生

マーカス・デュ・ソートイ 著
富永星 訳
『素数の音楽』
新潮社
【所在】図・開架・図書/
教・数学教育
【請求記号】412.9/D 99

素数の神秘に取り組んだ偉大な人々と彼らの研究を辿る壮大かつ感動的な物語。古代ギリシア人にとって音楽は数学の一種だったようだけれども、本書は数学もまた音楽的であると感ぜさせてくれる。読後は、誰でもきっとリーマン予想についてももっと知りたくなるに違いない。学生の皆さんは、まずはラマヌジャンの「(全ての自然数の和) = 1/12」辺りから勉強を始めてみては?

医学部 富本秀和先生

野村総一郎 著
『心の悩み』の精神医学
PHP研究所
【所在】図・開架・図書
【請求記号】493.7/N 95

私は神経内科の医者であつて心の専門医ではないが、神経疾患の患者さんが精神症状を呈することもあるため、心の問題には興味をもっている。本書は心の問題をわかれわれ専門外のものにもわかりやすく述べてくれている。実際の患者さんの例をあげて解説し、最後に良い医師の見分け方、といった怖いことも述べてある。肩が凝らず、寝転がりながら読破できる良書である。

教育学部 松本昭彦先生

渡部泰明 著
『和歌とは何か』
岩波書店
【所在】図・開架・PB
【請求記号】911.101/W 46

三十一文字の中に、枕詞や掛詞等の技法を駆使して表現する和歌は、感情の表出としては現代人には理解しにくい。現代人のみならず「昔の人に」とも、和歌で表現される「心」は、ときに縁遠くも感じられる、別次元のものであつた。「その両者の距離を、演技という視点でつなげてみたい」として、レトリックの技法と、歌合等の「行為としての和歌」に照準を合わせて考察する。

人文学部 野村耕一先生

上山安敏 著
『神話と科学: ヨーロッパ知識社会 世紀末~20世紀』
岩波書店
【所在】図・開架・図書
人・哲思想/人・独語独文学
【請求記号】302.3/U 51

19世紀末から20世紀初めの世紀転換期ヨーロッパで展開した、知識社会の変動を鮮やかに描き出した名著である。マックス・ウェーバー「職業としての学問」(岩波文庫)という有名な講演録とあわせて読むと、現代へと通じる知的世界の血脈を深く知ることができると思う。私が学部学生の頃に読んで大きな影響を受けた書物のひとつである。

どんなところ？ 三重大図書館

特集

町の図書館や、小・中・高の図書室とは一味違う、大学図書館。すみからすみまで完全図解。図書館を使ってレベルアップ&リフレッシュ！

2F

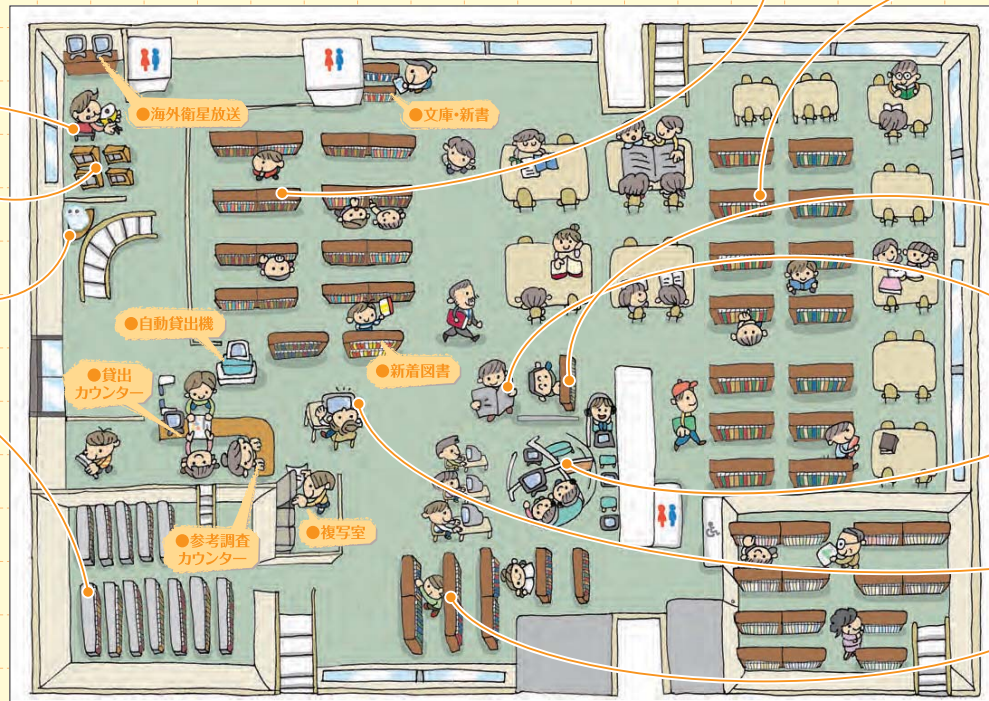


- **パソコンコーナー**
情報収集やレポートの作成に
- **共同学習室**
グループでの熱い議論もOK!
- **和雑誌(1984~)**
学術雑誌は専門的な情報の宝庫
- **洋雑誌(1984~)**
英語の雑誌論文がたくさん。
- **新聞縮刷版**
- **洋雑誌バックナンバー(~1983)**
みんなよりずっと年上!
- **防災情報コーナー**
防災に関する図書がたくさん

- **大学紀要**
全国の大学が出す雑誌。三重大もここに
- **政府刊行物**
- **ソーラーパネル**
エコ発電。図書館の空調や照明の電力として使っています
- **書庫**
古くなった資料や貴重書の並ぶ部屋
- **開架図書**
人文・社会科学系
- **開架図書**
総記・自然科学系

- **新着雑誌**
- **国際交流サロン**

1F



- **環境情報コーナー**
環境先進大学三重大
- **リフレッシュコーナー**
ここで飲食できます。勉強疲れをリフレッシュ!
- **和雑誌バックナンバー(~1983)**
電動で動くハイテク書架
- **新聞コーナー**
今日の新聞で最新情報をキャッチ
- **ブックロウ**
図書館のマスコット

- **展示図書**
三重大の先生が書いた本
- **新聞**
- **視聴覚コーナー**
つろぎながらDVD鑑賞
- **OPAC**
三重大の資料を検索
- **参考図書**
調べ物に使える辞書事典、年鑑がぎっしり

- **海外衛星放送**
- **文庫・新書**
- **自動貸出機**
- **貸出カウンター**
- **新着図書**
- **参考調査カウンター**
- **複写室**

★図書館クイズ★

- ① 図書館でとっている新聞の朝刊は何紙?
- ② 図書館の図書は〇〇〇〇順にならんでいる。
- ③ 玄関ホールのブックロウの産みの親は〇〇〇〇先生。

答えは7ページにあります。





ブックロウの Pick Upコーナー!!

図書館のホームページ
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
から Check it out !!

リニュー
アル

視聴覚コーナー



2010年2月に視聴覚コーナーが新しくなりました。このコーナーでは図書館が持っているDVDやビデオを見ることができます。2人で視聴できるブースと、1人で視聴できるブースがあります。ご利用は申込書に学生証を添えてカウンターで手続きをしてください。



ソーラーパネルを設置しました



図書館屋上と壁面に240枚のソーラーパネルを設置しました。これにより発電した電力は館内の空調設備や照明に利用されます。また、いつでも発電量が見られる表示板を玄関ホールに設置しました。

太陽光発電は太陽エネルギーを直接電気エネルギーに変える環境にやさしい発電装置です。年間約18,000kgのCO₂削減ができ、地球温暖化防止に役立ちます。



From Students 三重大学図書館



館長懇談会



学生さんは図書館についてどんなことを感じているのでしょうか？
館長懇談会を開き、各学部の学生さんから様々な意見を出していただきました。

と き：2009年11月25日(水)
14:30-16:10

会 場：図書館3階会議室

参加者：

(学生)：人文学部1名、教育学部1名、医学部2名、工学部2名、生物資源学部3名

(図書館)：松岡理事(附属図書館長)、菅原研究開発室教授、酒井学術情報部長、湖内情報図書館課長、各担当係長4名



よい図書館を作るためには利用者の意見が必要です。これまでもアンケートなどを行ってきたのですが、生の意見が聞きたいと思い集まっていただきました。どんなことでも思ったことを言ってください。できるところから取り入れていきたいと思っています。



松岡附属図書館長

開館時間について、朝早い方がいいでしょうか、夜遅い方がいいでしょうか、土日は？

- 普段使う分には現状でいい
- 研究室に配属されるまでは勉強する場所がないので、図書館が開いてほしい
- 土日でも平日と同じくらい開けてほしい(週明けにテストがあったりする)
- 開館時間が長くなって図書館で勉強する時間が長くなったのはいい
- テスト期間だけでも長くなるといい

図書館で本を使って勉強しますか、それとも自習する場として使いますか？

- わからなくなったら本が気軽に探しに行けるので、図書館がいい
- 調べ物で本を借りるのもそうだけど、インターネットが近くにあって気軽に使えるのがいい
- 静かな場所とディスカッションできる場所との区切りがあるといい
- テスト前の情報交換の場として図書館を利用している

図書館の資料はいかがですか？

- 欲しい本がなく、なんか借りにくいので県立図書館を使っている
- 一般の経済や旅の本は、県立図書館の方がいっぱいある
- 実験方法でわからないことがあって調べたいな、と思ったら研究室貸出
- 古いのは悪いとは思っていないし、古いものもあってこそその図書館だけど、改訂されている資料については新しいものを入れて欲しい
- ちょっとみてみたい、程度のを研究室から取り寄せているとすごい量になるので、新しい本をもっと入れてほしい
- (自分は韓国人留学生だから)日韓、韓日辞典が古いと感じる

図書館の施設についてはどうですか？

- トイレがボタンと閉まる。ばねがきつい？ ゆるやかに閉まるようにしてほしい
- 自転車を停める場所がない
- 電気がつくはずなのにつかない机がある



様々なご意見をいただきありがとうございました。利用者にとってより良い図書館をスタッフ一同目指します。懇談会に参加された皆さんもそうでない方も、図書館への要望をどんどんお寄せください。



湖内情報図書館課長

News!

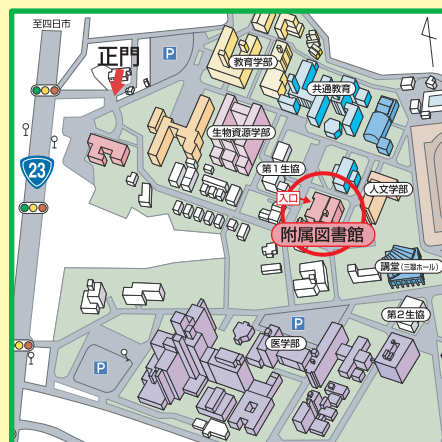
図書館ツアー実施します!

4月
9日(金) ・ 13日(火) ・ 15日(木)

[開催時間] 12:15~12:45

[内容] 図書館の各スペースやサービスの紹介

[集合場所] 附属図書館玄関ホール



- ★編入生や大学院生の方、ぜひご参加ください。
- ★学部1年生の方は、下記の授業で図書館ツアーにご参加いただけます。

- 「4つの力」スタートアップセミナー (教育学部、医学部、工学部、生物資源学部)
- 文化学科スタートアップセミナー (人文学部文化学科)
- 法律経済学科スタートアップセミナー (人文学部法律経済学科)

皆さまの
ご参加をお待ち
しています!



展示図書コーナー新着図書 (2009年7月~12月発行分)

- 宇京頼三 名誉教授(人) / 『パリ人論』
フレデリック・オッフエ著：宇京頼三訳 未知谷 2009.11
- 小山憲司 人文学部准教授 / 『情報アクセスの新たな展開』
日本図書館情報学会研究委員会編 勉誠出版 2009.10
- 赤木和重 教育学部准教授 / 『見方が変われば願いが見える：保育・障害者作業所の実践を拓く』
赤木和重、コスモス編著 クリエイツかもがわ 2009.11
- 内田イレーネ 共通教育非常勤講師、学生なんでも相談室カウンセラー / 『覚醒夢を用いた子どものイメージ療法：基礎理論から実践まで』
H.ロイナー、G.ホルン、E.クレスマン編著：岡田珠江、内田イレーネ訳 創元社 2009.9

** 編集後記 **

●表紙の写真：125号の表紙は、リニューアルした視聴覚コーナーです。本号7ページブックロウのPick Upコーナー掲載のニュースもぜひご覧ください。図書館で所蔵しているビデオやDVDなどの資料を、視聴することができます。

アジアの子供とNGOということでは、私にも一つの接点がある。家人の知人がフィリピンのセブ島に小学校を建設するNGOを立ち上げ、昨年から私たちも島の小学生の男の子の里親となっている。彼には両親そろっているが、父親は病気で働くことができない。この12月にNGO本部から現地を訪れての近況報告や写真とともに、彼が色鉛筆で描いたクリスマスカードが送られてきた。成績はそれほど若しくはなさそうであるが、大勢の兄弟と両親らに囲まれて幸せそうであった。クリスマスカードは「日本のママへ」とあって、「パパ」が抜けていたことはちょっと残念であった。